

公益社団法人日本都市計画学会北海道支部

2021年度研究発表会開催報告書

都市計画に関する日頃の研究内容や実践活動を発表する機会を広く設けるために、支部研究発表会を開催しました。研究論文に加え、都市・地域づくりの現場における実務報告や実践報告もあり、都市計画に関連する分野の方々の情報交換や交流の場として大いに役立つと考えています。以下、開催概要を報告いたします。

2021年11月

公益社団法人日本都市計画学会北海道支部

支部長 高野伸栄

1. 実施概要

(1)日時 2021年11月27日(土曜日)13時～18時

(2)会場 北海道大学工学部アカデミックラウンジ1
〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目(工学部A棟2階南側)

(3)参加者・参加費 55名・無し

(4)後援

一般社団法人日本建築学会北海道支部、公益社団法人土木学会北海道支部、公益社団法人日本造園学会北海道支部、一般社団法人日本計画行政学会北海道支部、特定非営利活動法人日本都市計画家協会北海道支部、北海道都市地域学会、北海道地域観光学会、北海道市長会、北海道町村会、北海道開発局、北海道、札幌市



2. 基調講演

- 【論 題】 縄文遺跡群でまちづくりー世界遺産あるまち函館の現場からー
- 【講 師】 長谷山裕一氏（函館市教育委員会生涯学習部文化財課長）
- 【内 容】 本年7月に世界遺産となった「北海道・北東北の縄文遺跡群」を、保存と活用の観点から、景観や交通アクセス、地域振興などについてご講演いただきました。

講師略歴

1968年北海道函館市生まれ。大学卒業後建設会社に就職し、その後、函館市役所に入庁。まちづくりや都市景観、市民活動支援、大学連携、交通政策に従事。2020年から現職。北海道景観審議会委員，日本都市計画学会員。



3. 研究発表

北海道支部研究発表会では、地域資源を活かしたまちづくり、都市文化、地方分権、サステイナブル、参加と組織、都市・地域の再生、都市・地域経営、観光、交通、ランドスケープ、海外都市計画などをはじめとする、建築、土木、造園及び関連分野の都市計画に関する計画、デザイン、分析、調査、事業等についての研究を募集して、応募者自身に公開の場で口頭発表を行っていただきました。

本年度は、13本の研究論題の投稿がありました。

研究発表の形式

口頭発表によるプレゼンテーション

発表一本当たり 発表7分・質疑3分

4. 総合討論

基調講演並びに多様な研究・事業成果報告者が一堂に会して研究発表が行われた後、研究発表の司会とコメンテーターが中心となり、総合討議を行うことで議論の深化を図りました。

5. 表彰

アブストラクトと口頭発表から総合的に審査しました。最も優秀なものに「支部長賞」(1本)、次いで「優秀賞」(2本)、「奨励賞」(3本)を授与しました。また、「特別賞」(2本)を授与しました。【次頁参照】

6. 実施体制

(1) 総合司会 愛甲哲也副支部長(北海道大学)

(2) 研究発表・総合討論

司会 小篠隆生副支部長(北海道大学)
コメンテーター 小松正明参事(前北海道支部長、前田道路株式会社)
森 朋子幹事(札幌市立大学)
岸 邦宏幹事(北海道大学)
宮崎貴雄幹事(国土交通省北海道開発局)

(3) 審査委員会

審査委員長 高野伸栄支部長(北海道大学)
審査委員 池ノ上真一幹事(札幌国際大学)
渡部典大幹事(北海道大学)
酒井裕司幹事(イメージランドスケーププランニング)
中林光司幹事(札幌市)
渡辺 亮参事(北海道)
長谷川豊参事(札幌市)

(4) 運営

オンライン状況チェック 松田泰明幹事(土木研究所寒地土木研究所)
林 憲裕参事(国土交通省北海道開発局)
会場&オンライン運営 小西信義幹事(北海道開発技術センター)
米光保貴君(北海道大学大学院工学院)
萩生田優騎君(北海道大学大学院工学院)
審査委員会運営 石井 旭幹事(北海道立総合研究機構)
窪田映子幹事(株式会社 KITABA)
会場受付運営 山下昌彦幹事(株式会社日本データサービス)
会計 朝倉俊一支部事務局長(株式会社ドーコン)
事務局 伊藤徳彦幹事(北海道開発技術センター)

公益社団法人日本都市計画学会北海道支部

2021 年度研究発表会

表 彰

【支部長賞】

☆公開空地のアクセシビリティに関する定量的評価に基づく制度的課題の考察

- 札幌市総合設計制度による公開空地を調査対象として -

◎上遠野洋明（北海道大学大学院工学院建築都市空間デザイン学専攻）、森傑、
野村理恵

【優秀賞】

☆冬季歩行環境の向上のための冬季歩行安定度の分布特性に関する研究

◎萩生田優騎（北海道大学大学院工学院北方圏環境政策工学専攻）、岸邦宏、高野伸栄

【奨励賞】

☆地方都市の空間評価と住民意識による新たな都市空間ガイドラインの方向性 その1

- 北海道東川町を事例とした適疎INDEXによる空間評価の可能性 -

◎佐々木嵩（北海道大学大学院工学院建築都市空間デザイン学専攻）、小篠隆生、
上木翔太、加野和奏、寺嶋啓介

☆地方都市の空間評価と住民意識による新たな都市空間ガイドラインの方向性 その2

- 北海道東川町を事例とした適疎空間ガイドライン -

◎上木翔太（北海道大学大学院工学院建築都市空間デザイン学専攻）、小篠隆生、
加野和奏、佐々木嵩、寺嶋啓介

☆住みやすさの満足度に基づく地方都市と地方中核都市との広域連携に関する研究

◎米光 保貴（北海道大学大学院工学院北方圏環境政策工学専攻）、岸邦宏、高野伸栄

【特別賞】

☆ビルテナント属性から見た札幌市大通地区の特性把握

- 沿道 97 棟を対象に雑居ビルテナントに着目して -

◎坂元あかり（札幌市立大学デザイン学部）、森朋子

☆木製遊具の長寿命化を図るための技術開発

- 接合金具を使用した木製遊具のハイブリッド化と長寿命化の実証試験 -

◎小林裕昇（北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場性能部構造・環境グループ）

公益社団法人日本都市計画学会北海道支部 2021 年度研究発表会
全体プログラム

日 時：2021 年 11 月 27 日土曜日
会 場：北海道大学工学部アカデミックラウンジ
開催方式：会場・オンライン(ZOOM)併用開催

12:30 会場開場

12:50 オンライン開場

【総合司会】 日本都市計画学会北海道支部副支部長 愛甲哲也

13:00 開会式

開会挨拶 日本都市計画学会北海道支部支部長 高野伸栄

13:10-14:10 基調講演

演 題：縄文遺跡群でまちづくりー世界遺産あるまち函館の現場からー

講 師：長谷山裕一氏 函館市教育委員会生涯学習部文化財課長

=休憩 10 分=

14:20-17:30 研究発表・総合討論

司 会 日本都市計画学会北海道支部副支部長 小篠隆生

コメンテーター 日本都市計画学会北海道支部

小松正明参事（前北海道支部長、前田道路株式会社）

森 朋子幹事（札幌市立大学）

岸 邦宏幹事（北海道大学）

宮崎貴雄幹事（国土交通省北海道開発局）

○14:20-15:30 研究発表セッション 1 【テーマ：空間・景観】

=休憩 10 分=

○15:40-16:40 研究発表セッション 2 【テーマ：災害・観光・公園】

=休憩 10 分=

○16:50-17:20 総合討論

=休憩 10 分=

17:30 表彰式・閉会式

表 彰 日本都市計画学会北海道支部支部長 高野伸栄

(終了予定 18:00)

公益社団法人日本都市計画学会北海道支部 2021 年度研究発表会 研究発表プログラム

| セッション | 発表順 | タイトル | 筆頭著者 | 所属 | 共著者 | 会場発表 | オンライン発表 |
|--------------------|-----|--|---------|-----------------------------------|---------------------|------|---------|
| セッション1 空間・景観 | 1 | 地方都市の空間評価と住民意識による新たな都市空間ガイドラインの方向性 その1 - 北海道東川町を事例とした適疎INDEXによる空間評価の可能性 - | 佐々木 嵩 | 北海道大学大学院工学院建築都市空間デザイン学専攻 | 小篠隆生、上木翔太、加野和奏、寺嶋啓介 | ○ | |
| | 2 | 地方都市の空間評価と住民意識による新たな都市空間ガイドラインの方向性 その2 - 北海道東川町を事例とした適疎空間ガイドライン - | 上木 翔太 | 北海道大学大学院工学院建築都市空間デザイン学専攻 | 小篠隆生、加野和奏、佐々木嵩、寺嶋啓介 | ○ | |
| | 3 | 住みやすさの満足度に基づく地方都市と地方中核都市との広域連携に関する研究 | 米光 保貴 | 北海道大学大学院工学院北方圏環境政策工学専攻 | 岸邦宏、高野伸栄 | ○ | |
| | 4 | ビルテナント属性から見た札幌市大通地区の特性把握 - 沿道97棟を対象に雑居ビルテナントに着目して - | 坂元あかり | 札幌市立大学デザイン学部 | 森朋子 | ○ | |
| | 5 | テキストマイニングを用いた眺望道路の成立要因に関する調査結果 | 松田 泰明 | 国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所地域景観チーム | 笠間聡 | | ○ |
| | 6 | 公開空地のアクセシビリティに関する定量的評価に基づく制度的課題の考察 - 札幌市総合設計制度による公開空地を調査対象として - | 上遠野洋明 | 北海道大学大学院工学院建築都市空間デザイン学専攻 | 森傑、野村理恵 | ○ | |
| | 7 | Study on regionalization of county characteristic landscape features | GAO Xin | 北海道大学国際広報メディア・観光学院 | | | ○ |
| セッション2 災害・観光・公園 | 8 | 冬季歩行環境の向上のための冬季歩行安定度の分布特性に関する研究 | 萩生田優騎 | 北海道大学大学院工学院北方圏環境政策工学専攻 | 岸邦宏、高野伸栄 | ○ | |
| | 9 | 北海道太平洋沿岸の港湾において想定される津波による経済的被害 | 川村 壮 | 北海道立総合研究機構北方建築総合研究所 | 竹内慎一、戸松誠 | | ○ |
| | 10 | 北海道における屋根雪下ろし問題について | 小西 信義 | 一般社団法人北海道開発技術センター | 金田安弘、原文宏、高野伸栄 | ○ | |
| | 11 | 木製遊具の長寿命化を図るための技術開発 - 接合金具を使用した木製遊具のハイブリッド化と長寿命化の実証試験 - | 小林 裕昇 | 北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場性能部構造・環境グループ | | ○ | |
| | 12 | アドベンチャーツーリズムのリソースとしての客観的評価と関係者のリスク認知の変化について-大雪山国立公園の事例 | 佐賀 彩美 | 一般社団法人北海道開発技術センター | 原文宏、早坂悟、伊藤稔 | ○ | |
| | 13 | 地域の記念日「手稲山の日」を楽しむウォーキングイベントの企画と実践 | 道尾 淳子 | 北海道科学大学未来デザイン学部メディアデザイン学科 | | ○ | |